## 本記事で実施すること

- 1. Redmineを動かすためのパッケージがインストールできるように準備をします。
- 2. Redmineを動かすためのパッケージ(Ruby/データベース/Webサービスなど)をインストールします。
- 3.データベースやWebサービスの基礎設定を行います。
- 4. Redmineの動作確認を行います。

## 想定している読者

- 「Redmine」をUbuntuにインストールしてみたい
- まずは動くところまで確認できればいい

### 前提

- Ubuntuサーバの初期設定が終わった直後の状態を想定します。
- DNSでドメインの名前が解決できることを前提としています
- 環境は以下の通りです。
  - Apache系
    - MySQL
    - Ruby 2.7
- また、パッケージ管理としてaptitudeを用いています。aptが好みの方はこちらに読み替えてください。

#### 特記事項

- 本手順ではRedmine 4.2 / Redmine 5.0のどちらかがインストール可能です。
- 本Redmineでは4.2にしています。
  - 5.x系にしないのは「筆者が使いたいプラグインが4.2系まででしか動作確認できなかった(2023年1月現在)」という単純にして重要な理由です。
  - 同様に、Ubuntu22.04でインストールできるRedmineのバージョンは5.x以降となるため、インストールするUbuntuは20 .04系になっています。
- 本記事のredmineの格納ディレクトリは/home/www-data/redmineです。一般的なディレクトリ(/var/lib/redmine)と異なることを最初に注記します。
- また、Ubuntu22.04以降はRubyのバージョンが異なるため、4.2系がインストールできません。

# 手順

## 必要なパッケージをインストールします。

sudo aptitude update

sudo aptitude install

build-essential zlib1g-dev libssl-dev libreadline-dev libyaml-dev libcurl4-openssl-dev libffi-dev mysql-server mysql-client apach apache2-dev libapr1-dev libaprutil1-dev imagemagick libmagick++-dev fonts-takao-pgothic subversion git ruby libruby ruby libmysqlclient-dev

### apacheの追加モジュールをインストールします。

sudo aptitude install libapache2-mod-passenger

## rubyのパッケージ管理(gem)を用いて必要なライブラリをインストールします。

sudo gem install bundler racc mysql2 # 「3 gems installed」が表示されればインストール成功です。

### 必要に応じてmysqlの初期設定を行います。

mysql\_secure\_installationによる初期設定を行います。

うまくいかない場合は以下を参照してください。

https://atelier.reisalin.com/projects/zettel/questions/5-mysql\_secure\_installation

#### mysqlでDBとユーザーを設定します。

sudo mysql -u roo-p # 上記で設定した「mysqlのrootパスワード」を入力し、mysqlにログインします

CREATE DATABASE redmine character set utf8mb4; /\* DB "redmine" を作成します \*/

CREATE USER 'redmine'@'localhost' IDENTIFIED BY 'password'; /\* ユーザ "redmine"を作成し、パスワードを設定します\*/ /\* この'password'は任意のパスワードに変更してください\*/

GRANT ALL ON redmine.\* TO 'redmine'@'localhost'; /\* DB "redmine"の権限をユーザ "redmine"に委譲します\*/

flush privileges; /\* 設定を反映させます\*/

exit

#### Redmineプログラムを配置します。

sudo mkd -p /home/www-data/redmine

sudo chow -R www-data:www-data /home/www-data

sudo -u www-data svn co https://svn.redmine.org/redmine/branches/4.2-stable /home/www-data/redmine # Redmine 5.0をインストールしたい場合は以下を実行します。 # sudo -u www-data svn co https://svn.redmine.org/redmine/branches/5.0-stable /home/www-data/redmine

### Redmineのコンフィグを設定します。

sudo c -pi /home/www-data/redmine/config/database.yml.example /home/www-data/redmine/config/database.yml

sudo vi /home/www-data/redmine/config/database.yml # 教義・信仰に従ったエディタで編集してください。

database.yml 編集内容

production: adapter: mysql2 database: redmine host: localhost username: redmine # rootからredmineに変更します password: "redmine用のパスワード" encoding: utf8mb4 # 本番環境(production)のみ設定を行います

### Redmineのマイグレーションを行います。

cd /home/www-data/redmine/&& pwd

# /home/www-data/redmine/ (Redmineを配置したディレクトリ)であることを確認します

sudo -u www-data bundinstall --without developmentest --path vendor/bundle

sudo -u www-data bundexec rake generate\_secret\_token

sudo -u www-dataRAILS\_ENV=production bundleexec rake db:migrate

sudo -u www-dateRAILS\_ENV=production REDMINE\_LANG=ja bundleexec rake redmine:load\_default\_data

### Apacheの設定ファイルを作成します。

cat <<- \_\_EOF\_\_ | sudo tee -a /etc/apache2/sites-available/redmine.conf <VirtualHost \*:80> ServerName hoge.example.com # ServerNameは自身が設定したredmineに読み替えてください。 DocumentRoot /home/www-data/redmine/public <Directory /home/www-data/redmine/public> Options -MultiViews AllowOverride All Require all granted </VirtualHost> \_EOF\_

### 設定を反映させます。

ls -l /etc/apache2/sites-available/redmine.conf # ファイルがあることを確認します。

sudo a2ensite redmine.conf # 設定ファイルを有効化します

sudo a2dissite 000-default.conf sudo a2dissite default-ssl.conf # 初期サイト設定を無効化します

sudo apache2ctl configtest # Syntax OK を確認します

sudo systemctl restart apache2.service

systemctl status apache2.service

#### Webページの表示を確認します。

http://設定したRedmineドメイン

でRedmineのトップページが表示されれば成功です。

直ちにadmin/adminでログインし、強固なパスワードを設定し直します。

# 次のステップでやること

- SSL接続を有効化します。
- ログのローテーションを有効化し、適切なアクセスログを設定します。

O\_Redmine基本アイコン.jpg

258 KB 2024/01/05

手動人形